

# 都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

## 布袋地区

令和元年10月

愛知県江南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	江南市		地区名	布袋地区			面積	150ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	2,512百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(街路):都市計画道路布袋本町通線、布袋駅駅前広場 道路:市道南部第229号線、市道東部第280号線、市道東部第425号線									
			提案事業	地域創造支援事業:布袋駅西地区まちなみ整備 事業活用調査:事業効果分析調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(カラー舗装):布袋駅西地区	削除/追加の理由				事業内容の精査により削除(カラー舗装対象路線に訪客の数はあまり無く整備効果が薄い)。					
		提案事業	-	-				-					
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(エスカレーター):布袋駅	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				数値指標の「まちの賑わい満足度」に寄与するが目標や指標等を変更するほどの影響はない。					
提案事業		雨水排水対策施設整備	-				布袋駅東地区の基盤整備(市道東部第280号線・425号線等)と一体的に排水路を整備していくことで、地区内の浸水被害を軽減し、利便性の高い生活環境を確保するため事業を追加。						
交付期間の変更	当初	平成26年度～30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	まちの賑わい満足度	%	15	H25	21	H30	14	18	△	あり	● 都市基盤整備を着実に進めているものの、鉄道高架化事業の本体工事や駅周辺の基盤整備が途中段階であることから、人々が賑わいを実感できずに満足度は目標値を達成することができなかった。	令和2年7月
	指標2	防災エリア率	%	78	H25	82	H30	80	82	○	あり	布袋本町通線や市道東部第280号線・市道東部第425号線等の整備が順調に進捗し、防災エリア率が増加したことで目標値は達成した。	なし
	指標3	建築促進数	件	261	H24	423	H30	418	510	○	あり	鉄道高架化事業や駅周辺の都市基盤整備により地区の利便性が期待されていることから、建築促進数は目標値を大きく上回り達成した。	なし
指標4	道路整備の満足度	%	44	H25	51	H30	27	39	△	あり	● 地区内の道路環境の改善を図っているが、整備途中の段階の道路が地区内に存在すること、また、整備した道路の連続性が不十分であることから人々に未整備イメージを与え、満足度が得られていない。	令和2年7月	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	布袋駅の乗降客数	人	2,982,424	H25	/	/	/	3,220,580	/	あり	● 鉄道高架化事業の進捗や駅へのエスカレーター設置及び駅周辺の市街地環境改善に向けた基盤整備の進捗により駅の乗降客数は平成27年度より増加傾向である。	令和2年7月
4)定性的な効果発現状況	<p>駅西地区の基盤整備だけでなく本計画より駅東地区も基盤整備を行なったことで鉄道高架化事業の完成後、駅東西が一体となった時のまちづくりにつながることが期待される。布袋駅東側の市道整備等は狭隘道路が多い駅東地区の安全性を確保しただけでなく、布袋駅や今後整備を行う布袋駅複合公共施設への地区内外からのアクセスの向上が期待される。雨水排水対策施設(排水路)の整備により駅東地区の浸水被害の軽減が見込まれる。地元まちづくり組織や地元有志による「まちづくりイベント」が平成23年度より1回継続して実施されており、活動の認知度が向上し地区内に定着しており、また活動を通して様々な団体の連携が図られ地域活動の促進に繋がっている。平成26年度に実施した案内サインの設置は、来訪者に地区内の名所・史跡の案内ができるだけでなく景観形成にも寄与している。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	モニタリング及び事後評価においては、まちづくり活動実施団体等による評価を実施する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●									今後も「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」の会合において、指標および事業進捗等の説明・確認を行っていく。	
	住民参加プロセス	地域住民で構成されるまちづくり活動団体等と定期的な会合を行うことにより、事業に反映する取り組みを実施してきており、今後もそれらを継続する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●									各種事業について、継続して地元の意向に配慮し、事業を推進していく。	
持続的なまちづくり体制の構築	整備される公共施設(道路、公園、駅前広場等)の維持管理についての協働体制(アダプト制度など)が確立できるよう、継続的かつ発展的なまちづくり活動を支援する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●									住民主体の公共施設の清掃美化活動を始めとする維持管理を推進していく。		

様式2-2 地区の概要

布袋地区(愛知県江南市)都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
鉄道高架を中心とした安心・安全な暮らしやすいまちづくり		まちの賑わい満足度	単位: %	15	H25	21	H30	18 R1
目標1 鉄道高架の推進と交通結節点の改善		防災エリア率	単位: %	78	H25	82	H30	82 R1
目標2 安心・安全な生活環境の確保		建築促進数	単位: 件	261	H24	423	H30	510 H30
目標3 地域資源を生かしたまちづくり		道路整備の満足度	単位: %	44	H25	51	H30	39 R1

  

**道路(街路):「都市計画道路布袋本町通線」**

布袋駅へのアクセス道路である都市計画道路布袋本町通線において歩道設置等の整備を行い、歩車分離による安全性の確保と交通結節機能の向上を図った。

整備前

整備後

**高質空間形成施設(エスカレーター): 布袋駅**

安全性・利便性の向上を目指し、エスカレーターの整備を行った。

**道路:「市道東部第280号線、市道東部第425号線」**

市道東部第280号線、市道東部第425号線を一体的に整備することにより、布袋駅東地区の狭隘道路を解消し、防災性を向上させた。

整備前

※令和元年10月現在

**地域創造支援事業: 雨水排水対策施設整備**

布袋駅東地区の浸水被害の軽減を目指し、排水路の整備を行った。

**地域創造支援事業: 布袋駅西地区まちなみ整備**

案内サインの設置により今後のまちづくり活動を展開していく基盤を整えた。

**まちの課題の変化**

- 「本地区内における交通結節機能を向上させる整備は依然不十分であるため、さらに都市計画道路等の整備を進めていく必要がある。」という課題については、駅西地区の都市計画道路布袋本町通線、駅東地区の市道東部第280号線、市道東部第425号線の整備を行い、交通結節機能を高めたが、鉄道による駅東西の分断により駅前賑わいは十分でないため、鉄道高架の完成を見据えた基盤整備により新しい駅の駅前にふさわしい賑わいを創出する必要がある。
- 「駅東地区においては鉄道高架に伴い利便性が求められるなかで、以前からの課題である狭隘道路や浸水被害の解消及び地区の防災性を高めるための新たな道路の整備が必要である。」という課題については、市道東部第280号線、市道東部第425号線の道路整備、雨水排水対策施設整備にて排水路の整備を行い地区の防災性を高めたが、今後、地区外からの来訪者が増加すると見込まれる布袋駅東複合公共施設を整備していくことから地元住民だけでなく誰もが安全で便利に活動できるまちづくりを進めていく必要がある。
- 「魅力と活力あるまちづくり」に繋げていくためには、地域のまちづくり活動と一体的にまちなみの活用やまちあるきの展開を図ることが有効であり、地区の歴史的地域資源などと調和したまちなみ景観整備が必要である。」という課題については、地元住民によるまちづくりイベントなどにより地区内の来訪者が増えたことから、案内サインの設置等を行い今後のまちづくり活動を展開していく基盤を整えた。
- 「布袋駅または駅周辺地域の平面的移動に対する整備が進む中、立体的移動を中心とした安全性や利便性の高い整備を進める必要がある。」という課題については、以前より地元からの要望が高かった布袋駅のエスカレーター設置について検討し、事業に着手した。

以上4点より、鉄道高架化事業や関連する基盤整備が進み、今後さらに都市機能が集約されていく布袋駅周辺は、魅力的な市民の交流空間の創出を図る拠点を形成していくことが新たな課題となった。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

**【効果を持続させるための方策】**

- 安心・安全な交通結節機能の確保...整備済みの道路とネットワーク(連続性)を図り、安心・安全な生活環境の向上を目指す道路整備を行いながら交通結節機能を確保していく。
- 駅東地区の防災性のさらなる向上...布袋駅東駅前広場とその地下に埋設する雨水貯留槽、また駅東地区における道路整備を行い地区内の防災性をさらに向上させる。
- 住民主体のまちづくり活動の継続...まちづくりイベント等の継続や地域の自主性を尊重した支援を行う。
- 布袋駅のエスカレーター設置について...鉄道高架工事の進捗にあわせ、未着手のエスカレーターの整備を行い、移動の円滑化を図る。

**【改善策】**

- 賑わいのある駅周辺のまちづくり...駅前広場や布袋駅東西をつなぐ都市計画道路、自転車・歩行者専用道路や布袋駅のエスカレーターの整備などによって交通結節機能の向上を図るとともに、図書機能、子育て支援機能、交流機能を民間施設と一体となった布袋駅東複合公共施設に集約・再配置することで駅周辺の賑わいを創出する。
- 安全で便利に活動できるまちづくり...ゲリラ豪雨などに対応する雨水貯留槽や布袋駅のエスカレーターを整備するだけでなく、歩車分離を図る道路や自転車・歩行者専用道路、都市機能を集約した布袋駅東複合公共施設を整備することで、住民だけでなく、布袋駅周辺を訪れる人など誰もが安全で便利に活動できるまちづくりを行う。
- 鉄道高架の推進と市民の交流・活動の拠点づくり...鉄道高架化事業を推進し、その進捗に併せて駅前広場や公園、図書館や交流スペースを併設する布袋駅東複合公共施設などの整備により布袋駅を中心とした交流・活動の拠点を形成する。